

2016年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

---

2015年11月

 全国保証株式会社

# 目次

---

- I . 決算の概要 ..... P 3
- II . 今後の展開 ..... P 9

# 2016年3月期 第2四半期決算サマリー

- 消費マインドの持ち直しに加え、新設住宅着工戸数は前年同期を上回るなど、住宅市場は回復傾向
- 新規提携が進み、第2四半期累計期間にて銀行2行、JA11組合、その他1社の合計14機関と契約締結
- 営業収益は、保証債務残高が堅調に推移したことにより、計画通りに着地
- 営業費用(与信関連費用)は計画を下回り、利益計画は順調に推移

---

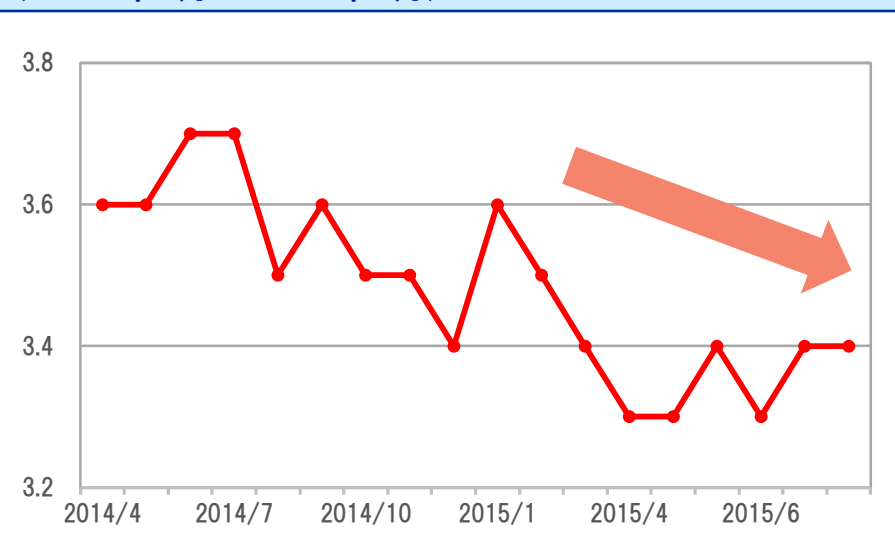
# I . 決算の概要

---

# 経済環境

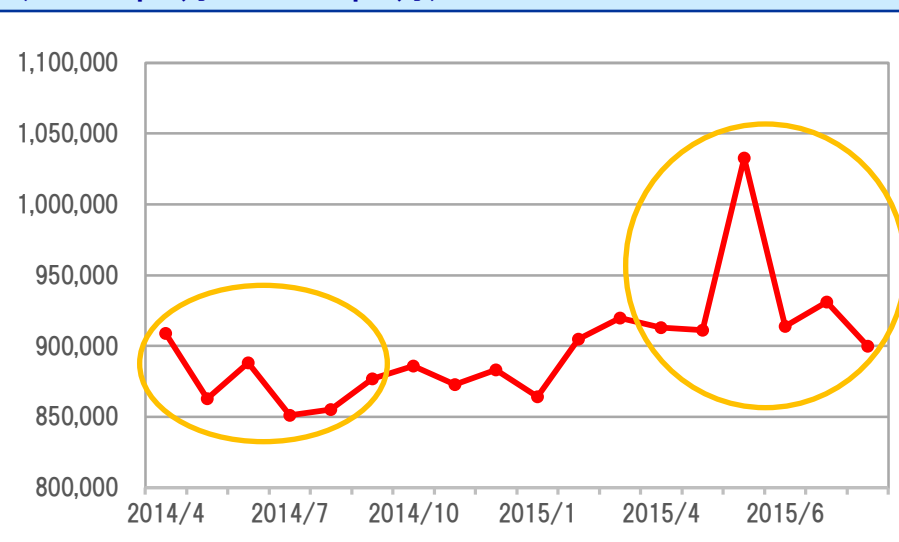
- 政府主導による経済対策や日本銀行による金融緩和策を背景として企業収益や雇用環境の改善が見られ、個人消費は底堅い動きとなるなど、景気は緩やかな回復基調が継続
- 消費マインドの持ち直しに加え、政府による住宅取得の促進に向けた施策の効果等により新設住宅着工戸数は前年同期を上回るなど、住宅市場は回復傾向となった
- 住宅ローン市場については、長引く低金利情勢を背景に、激しい獲得競争が展開

失業率(季節調整値)  
(2014年4月～2015年9月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)  
(2014年4月～2015年9月) (単位:戸)

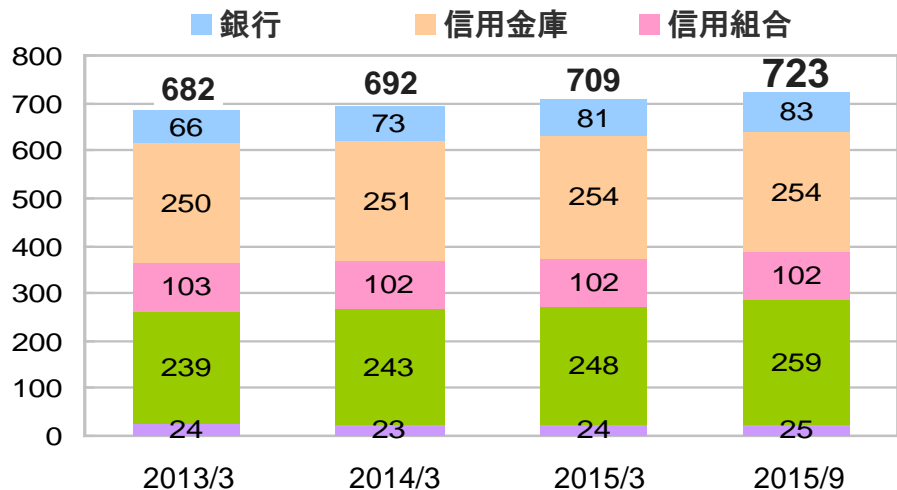


出所:国土交通省 住宅着工統計

# 提携金融機関数の拡大状況

## 業態別の提携金融機関数の推移

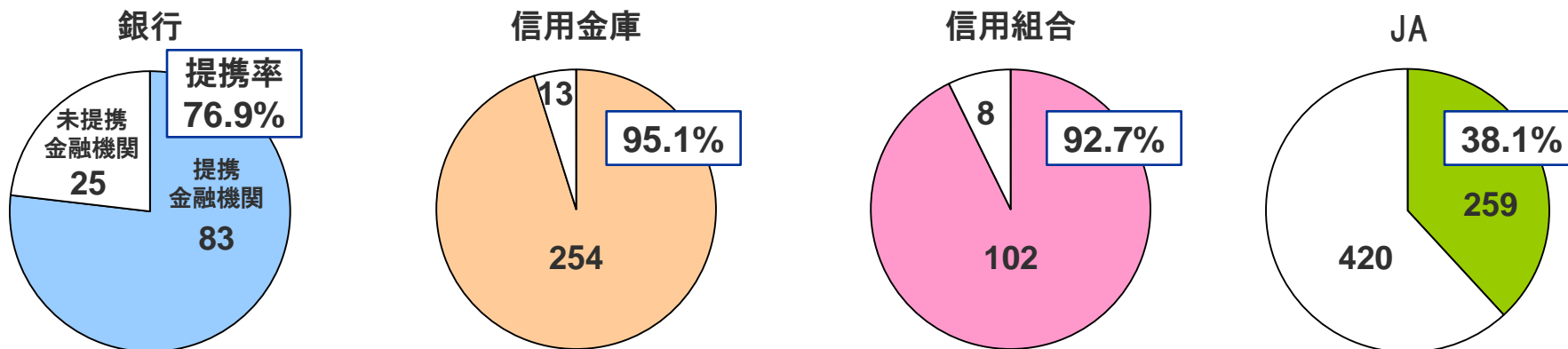
(単位:機関)



- 新規提携増加に努めた結果  
2016年3月期第2四半期累計期間において  
銀行2行、JA11組合、その他1社と契約締結

## 業態別の提携シェア

(単位:機関)

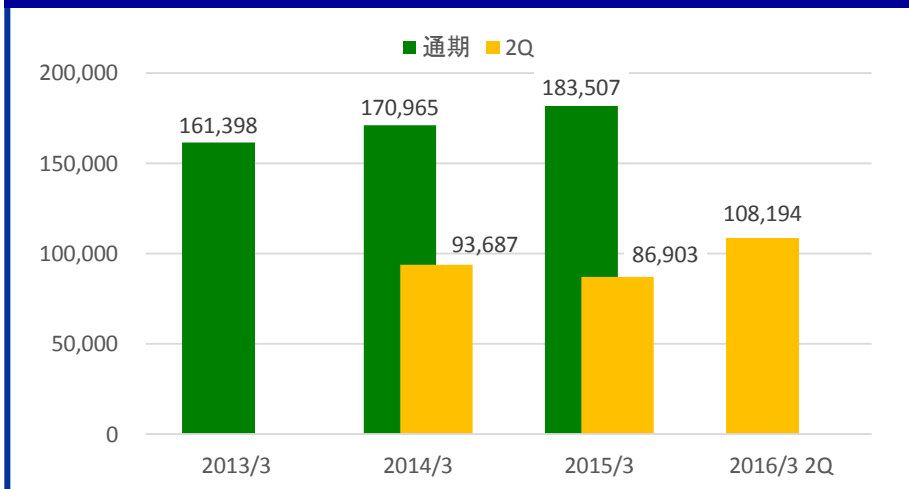


※銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友信託銀行、イオン銀行の合計

# ローン保証業務の拡大状況

## 新規保証受付件数

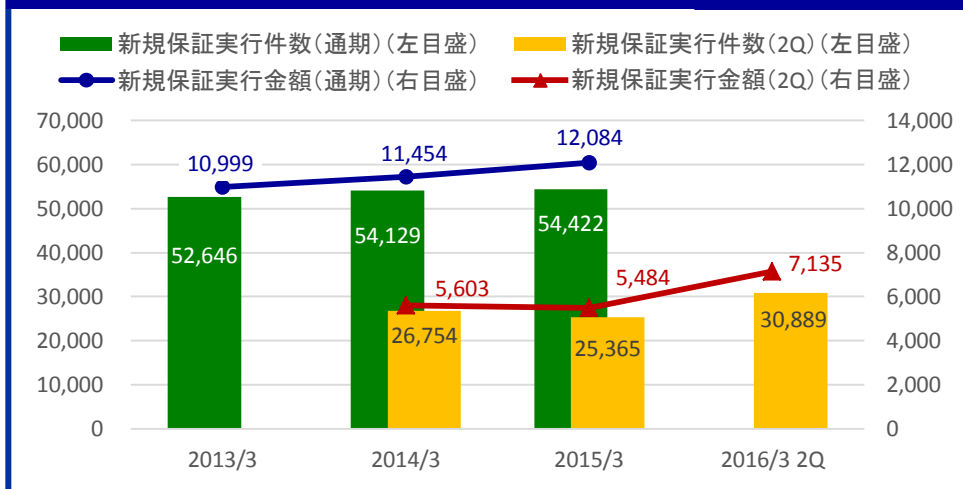
(単位:件)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

## 新規保証実行件数および新規保証実行金額

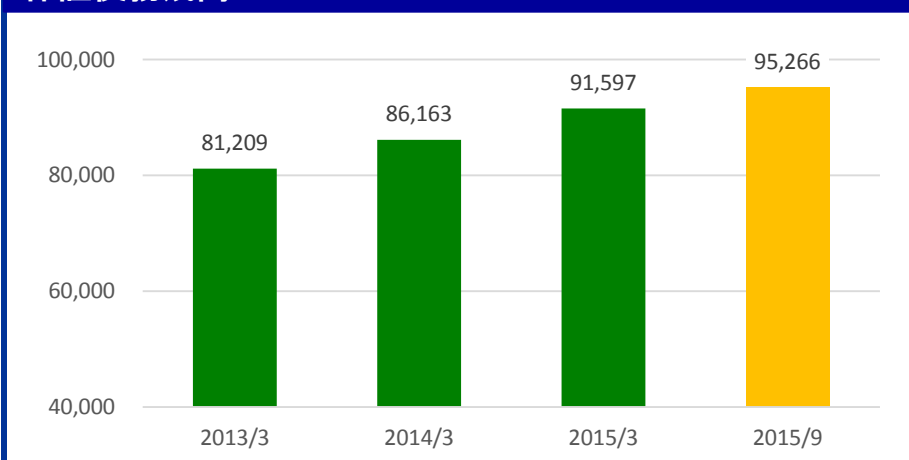
(単位:件、億円)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

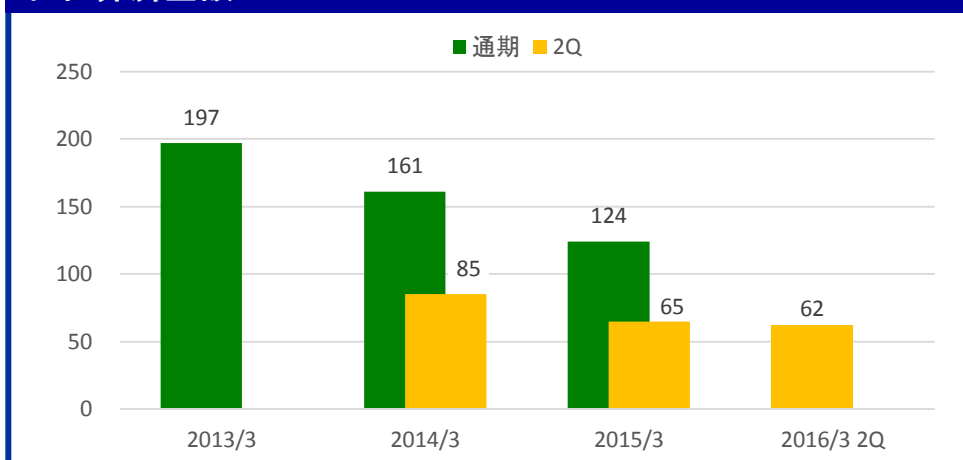
## 保証債務残高

(単位:億円)



## 代位弁済金額

(単位:億円)



# 2016年3月期 第2四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	15/3期 第2四半期	16/3期 第2四半期	前年 同期比
営業収益	11,700	12,558	7.3%
営業費用	3,160	2,641	▲16.4%
うち与信関連費用	871	157	▲81.9%
うちその他	2,289	2,483	8.5%
営業利益	8,539	9,916	16.1%
経常利益	8,979	10,304	14.7%
四半期純利益	5,757	6,839	18.8%

## ポイント

### ●営業収益

保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は125億58百万円を計上。

### ●営業費用

代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、与信関連費用は1億57百万円となった結果、営業費用は26億41百万円を計上。

(単位:百万円)

与信関連費用(内訳)	15/3期 第2四半期	16/3期 第2四半期
債務保証損失引当金繰入額	1,164	455
貸倒引当金繰入額	▲293	▲297

### ●当期純利益

上記の状況により、四半期純利益は68億39百万円を計上。



# 2016年3月期 第2四半期決算サマリー(B/S)

資産の部 (単位:百万円)			
	15/3期末	16/3期 第2四半期末	増減比
流動資産	154,727	155,215	0.3%
現金及び預金	112,693	114,544	1.6%
求償債権	12,448	12,401	▲0.4%
有価証券	11,099	10,383	▲6.4%
金銭の信託	20,254	20,027	▲1.1%
貸倒引当金	▲7,536	▲6,983	▲7.3%
固定資産	59,242	61,999	4.7%
投資その他の資産	58,570	61,386	4.8%
投資有価証券	48,000	50,863	6.0%
資産合計	213,970	217,215	1.5%

負債の部 (単位:百万円)			
	15/3期末	16/3期 第2四半期末	増減比
流動負債	29,660	24,955	▲15.9%
前受収益	12,450	12,939	3.9%
債務保証損失引当金	10,193	8,533	▲16.3%
未払金	2,516	709	▲71.8%
固定負債	123,785	128,332	3.7%
長期前受収益	123,669	128,234	3.7%
負債合計	153,445	153,288	▲0.1%
純資産の部			
株主資本	60,370	63,913	5.9%
評価・換算差額等	123	▲43	—
純資産合計	60,524	63,926	5.6%
負債・純資産合計	213,970	217,215	1.5%

## ポイント

- **資産**  
保証債務残高が堅調に推移したことにより、「現金及び預金」、「投資有価証券」が増加。
- **負債**  
保証料の返戻方法変更に伴って返金を行ったことにより、未払金が減少。

---

## Ⅱ. 今後の展開

---

# 上半期の進捗状況・下半期の取り組み

	上半期		下半期
既存提携先と取引 深耕	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 保証商品の浸透</li><li>✓ 利用率向上を目的とした、商品ラインナップの充実 (無担保借換商品の開発)</li></ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ キャンペーンの実施</li><li>✓ 説明会、訪問活動による利用促進</li></ul>
未提携金融機関との 新規提携推進	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 14機関と提携</li></ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 銀行を中心に提携推進</li><li>✓ 当社保証の利用率向上</li></ul>
カードローン保証の 提携先増加	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 提携金融機関数21機関 (今年度末目標60機関)</li></ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 住宅ローン保証の利用の多い金融機関を中心にアプローチ</li></ul>
業務効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ システム化の推進による業務量の削減</li></ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 審査に関するプロセスの見直しにより、効率化を図る</li></ul>

# 業績予想

(単位:百万円)

	15/3期	16/3期		前期比
		第2四半期	通期予想	
営業収益	29,507	12,558	30,840	4.5%
営業費用	7,126	2,641	8,110	13.8%
うち与信関連費用	2,365	157	3,000	26.8%
うちその他	4,761	2,483	5,110	7.3%
営業利益	22,380	9,916	22,730	1.6%
経常利益	24,115	10,304	24,200	0.4%
当期純利益 (四半期純利益)	15,112	6,839	16,000	5.9%

業績予想の前提	
保証債務残高	9兆7,420億円
新規保証実行件数	60,000件
提携金融機関数	715機関

その他	
ROE	21.8%
配当金(1株当たり)	51円